4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版A

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(2) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(3) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(6) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(8) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(9) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(10) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(11) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(12) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(14) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(15) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(16) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(17) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(19) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版B

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(6) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(7) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(8) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(9) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(11) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(12) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(13) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(15) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(16) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(18) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(19) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版C

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(2) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(3) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(4) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(5) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(6) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(7) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(8) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(10) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(12) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(13) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(16) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版D

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(2) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(6) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(7) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(8) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(9) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(11) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(19) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版E

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(2) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(3) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(4) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(5) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(8) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(11) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(12) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(14) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(16) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(19) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版F

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(4) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(5) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(7) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(8) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(10) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(11) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(12) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(13) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(15) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(16) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(17) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(18) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(19) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(20) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版G

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(2) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(5) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(7) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(8) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(9) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(10) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(11) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(12) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(14) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(15) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(16) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(18) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版H

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(2) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(3) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(6) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(10) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(11) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(12) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(13) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(14) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(16) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(18) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(20) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版I

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(2) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(3) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(4) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(5) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(6) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(7) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(8) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(9) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(10) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(13) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(14) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(15) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(17) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(18) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版J

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(2) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(3) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(4) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(5) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(6) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(8) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(10) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(11) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(14) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(16) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(18) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版K

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(10) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(11) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(15) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(16) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(17) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版L

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(6) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(7) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(8) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(10) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(11) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(16) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(17) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(20) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版M

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(8) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(10) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(11) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(14) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(15) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(16) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(19) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

(20) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版N

組　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(7) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(10) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(12) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか

(14) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか

(15) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版O

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか

(4) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(8) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか

(10) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(11) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(12) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか

(13) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか

(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか

(16) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版P

組　　番　　なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　／20問

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 地下で地震が始まった場所を何というか

(2) 山の斜面に積もった大量の雪が、いきおいよくくずれ落ちることを何というか

(3) 大きな地震のあとに、続けて何度も起きる地震を何というか

(4) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか

(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか

(6) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか

(7) 市町村や都道府県が、災害にそなえて何をするかを前もって決めておく計画を何というか

(8) 災害にそなえて、毛布や水・食料などを地域や学校にしまっておく倉庫を何というか

(9) 大きな災害のとき、市町村や都道府県が、救助などの対策を進めるために置く組織を何というか

(10) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか

(11) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか

(12) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか

(13) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか

(14) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか

(15) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか

(16) 宇宙から雲の動きなどを観測して、天気の予報や災害の情報に役立てる人工衛星を何というか

(17) 災害のあと、自分から進んで、お金をもらわずに片付けなどを手伝う人を何というか

(18) 地震のとき、落ちてくる物から頭を守るためにかぶる、綿の入ったずきんを何というか

(19) 災害のとき、安全な場所までにげるために通る道すじを何というか

(20) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Aの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(2) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(3) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
防災の日
（ぼうさいの日 でも正解）

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(6) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(8) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(9) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(10) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(11) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(12) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(14) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(15) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(16) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(17) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(19) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Bの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(3) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
防災の日
（ぼうさいの日 でも正解）

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(5) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(6) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(7) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(8) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(9) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(11) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(12) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(13) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(15) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(16) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(18) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(19) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Cの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(2) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(3) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(4) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(5) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(6) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(7) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(8) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(10) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(12) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(13) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(16) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Dの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(2) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(6) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(7) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(8) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(9) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(11) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(19) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Eの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(2) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(3) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(4) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(5) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(8) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(10) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(11) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(12) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(14) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(16) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(19) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Fの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(4) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(5) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(7) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(8) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(10) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(11) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(12) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(13) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(14) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(15) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(16) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(17) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(18) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(19) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

(20) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Gの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(2) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(5) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
防災の日
（ぼうさいの日 でも正解）

(6) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(7) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(8) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(9) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(10) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(11) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(12) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(13) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(14) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(15) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(16) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

(18) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Hの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(2) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(3) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(5) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(6) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(10) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(11) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(12) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(13) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(14) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(16) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(18) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(20) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Iの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(2) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(3) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(4) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(5) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(6) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(7) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(8) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(9) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(10) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(13) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(14) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(15) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(17) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(18) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Jの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(2) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(3) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(4) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(5) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(6) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(8) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(9) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(10) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(11) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(14) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(15) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(16) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(17) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(18) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(19) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Kの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか	防災の日 （ぼうさいの日 でも正解）
(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか	台風 （たいふう でも正解）
(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか	噴火 （ふんか でも正解）
(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか	液状化 （液状化現象・えきじょうか でも正解）
(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか	土石流 （どせきりゅう でも正解）
(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか	堤防 （ていぼう・土手 でも正解）
(7) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか	避難場所 （ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）
(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか	耐震 （耐震工事・耐震化 でも正解）
(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか	遊水地 （遊水池・ゆうすいち でも正解）
(10) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか	避難指示 （ひなん指示 でも正解）
(11) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか	備蓄 （びちく でも正解）
(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか	防災無線 （防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）
(13) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか	特別警報 （とくべつ警報 でも正解）
(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか	自衛隊 （じえいたい でも正解）
(15) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか	ライフライン
(16) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか	給水車 （きゅうすいしゃ でも正解）
(17) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか	気象庁 （きしょうちょう でも正解）
(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか	自助 （じじょ でも正解）
(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか	共助 （きょうじょ・互助 でも正解）
(20) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか	非常持ち出し袋 （非常持出袋・防災バッグ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Lの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
防災の日
（ぼうさいの日 でも正解）

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(6) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(7) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(8) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(10) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(11) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(12) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(16) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(17) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(20) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Mの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
防災の日
（ぼうさいの日 でも正解）

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(4) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(8) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(9) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(10) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(11) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(12) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(14) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(15) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(16) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

(17) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(19) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

(20) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Nの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(3) 火山の地下にあるマグマや火山灰が、地上にいきおいよくふき出すことを何というか
噴火
（ふんか でも正解）

(4) ゆれた場所ごとではなく、地震そのものの大きさ（規模）を表す数を何というか
マグニチュード

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(7) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(8) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(10) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(11) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(12) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(13) 電気・ガス・水道のように、ふだんのくらしに欠かせない、家までつながって届けられるものを何というか
ライフライン

(14) ふだんは別の仕事をしている地域の人たちが、火事や災害のときに消防の活動をする組織を何というか
消防団
（しょうぼうだん でも正解）

(15) 大雨や暴風などで重大な災害が起きるおそれがあるとき、注意報より一段強く出される知らせを何というか
警報
（けいほう でも正解）

(16) 災害で家を失った人のために、県や市などが用意する、しばらくのあいだ住むための家を何というか
仮設住宅
（応急仮設住宅・かせつ住宅 でも正解）

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

(18) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(20) 災害のとき、国や県・市町村が救助や支援を行うことを何というか
公助
（こうじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Oの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 大きな地震の災害が起きた日にちなんで決められた、毎年9月1日の記念日を何というか
防災の日
（ぼうさいの日 でも正解）

(2) おもに夏から秋に、南の海で発生して日本にやってきて、強い風と大雨をもたらすものを何というか
台風
（たいふう でも正解）

(3) 発達した積乱雲の下で起きる、細長くうずをまいた、とても強い風を何というか
竜巻
（たつまき でも正解）

(4) ある場所で、地震のゆれがどのくらい強かったかを表す数を何というか
震度
（しんど でも正解）

(5) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(6) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(7) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(8) 市町村が、災害の情報や避難のよびかけを、まちの屋外のスピーカーなどで知らせるしくみを何というか
防災無線
（防災行政無線・ぼうさいむせん でも正解）

(9) 災害の危険が高いとき、市区町村が、危険な場所にいる人は全員にげるように出すよびかけを何というか
避難指示
（ひなん指示 でも正解）

(10) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(11) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(12) 水道が止まった地域に、飲み水などを運んで配る車を何というか
給水車
（きゅうすいしゃ でも正解）

(13) 天気や地震・火山のようすを観測して、災害にそなえる情報を出す国の役所を何というか
気象庁
（きしょうちょう でも正解）

(14) 大きな災害のとき、おもに県知事のたのみを受けて、救助や物資を運ぶ活動を行う国の組織を何というか
自衛隊
（じえいたい でも正解）

(15) 数十年に一度のような、これまでにない大雨などが予想されるときに出される、いちばん強い知らせを何というか
特別警報
（とくべつ警報 でも正解）

(16) 町内会などの地域の住民が、自分たちで協力して災害にそなえるためにつくる組織を何というか
自主防災組織
（自主防 でも正解）

(17) 災害のときすぐににげられるよう、水や食料・懐中電灯などを入れて用意しておくふくろを何というか
非常持ち出し袋
（非常持出袋・防災バッグ でも正解）

(18) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）

(19) 災害のとき、近所や地域の人たちが協力して助け合うことを何というか
共助
（きょうじょ・互助 でも正解）

(20) 災害のとき、自分や家族の命を、まず自分たちで守ることを何というか
自助
（じじょ でも正解）

4年 社会 自然災害 一問一答（20問）　版Pの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 地下で地震が始まった場所を何というか
震源
（しんげん・震源地 でも正解）

(2) 山の斜面に積もった大量の雪が、いきおいよくくずれ落ちることを何というか
雪崩
（なだれ でも正解）

(3) 大きな地震のあとに、続けて何度も起きる地震を何というか
余震
（よしん でも正解）

(4) 1923年9月1日に起き、東京や横浜で大きな火事の被害が出た、地震による災害を何というか
関東大震災
（かんとうだいしんさい でも正解）

(5) 大雨のとき、山の土や石が水といっしょになって、いきおいよく谷を流れ下ることを何というか
土石流
（どせきりゅう でも正解）

(6) 地震のゆれで、水をふくんだ砂の地面が水のようになり、建物がかたむいたりすることを何というか
液状化
（液状化現象・えきじょうか でも正解）

(7) 市町村や都道府県が、災害にそなえて何をするかを前もって決めておく計画を何というか
地域防災計画
（防災計画・市町村地域防災計画 でも正解）

(8) 災害にそなえて、毛布や水・食料などを地域や学校にしまっておく倉庫を何というか
防災倉庫
（備蓄倉庫・防災備蓄倉庫 でも正解）

(9) 大きな災害のとき、市町村や都道府県が、救助などの対策を進めるために置く組織を何というか
災害対策本部
（市町村災害対策本部・都道府県災害対策本部 でも正解）

(10) 災害の危険からにげて、まず命を守るために集まる、広い公園などの安全な場所を何というか
避難場所
（ひなん場所・緊急避難場所 でも正解）

(11) 大雨で川の水が町に入りこまないように、川岸に土などを高くもり上げたものを何というか
堤防
（ていぼう・土手 でも正解）

(12) 災害にそなえて、飲み水や食料・毛布などを前もってたくわえておくことを何というか
備蓄
（びちく でも正解）

(13) 建物の柱やかべを強くして、地震のゆれにたえられるようにすることを何というか
耐震
（耐震工事・耐震化 でも正解）

(14) 大雨で川の水がふえたとき、あふれそうな水を一時的にためておく広い土地を何というか
遊水地
（遊水池・ゆうすいち でも正解）

(15) 災害で家にいられなくなった人が、しばらくのあいだ生活する学校の体育館などを何というか
避難所
（ひなんじょ・指定避難所 でも正解）

(16) 宇宙から雲の動きなどを観測して、天気の予報や災害の情報に役立てる人工衛星を何というか
気象衛星
（きしょうえいせい・ひまわり でも正解）

(17) 災害のあと、自分から進んで、お金をもらわずに片付けなどを手伝う人を何というか
ボランティア
（災害ボランティア・ボランティア活動 でも正解）

(18) 地震のとき、落ちてくる物から頭を守るためにかぶる、綿の入ったずきんを何というか
防災ずきん
（防災頭巾・ぼうさいずきん でも正解）

(19) 災害のとき、安全な場所までにげるために通る道すじを何というか
避難経路
（避難路・避難ルート でも正解）

(20) 災害が起きたときに安全に動けるよう、ふだんからにげ方などを練習することを何というか
防災訓練
（避難訓練・ぼうさい訓練 でも正解）